

透明骨格標本 [日比野 拓]

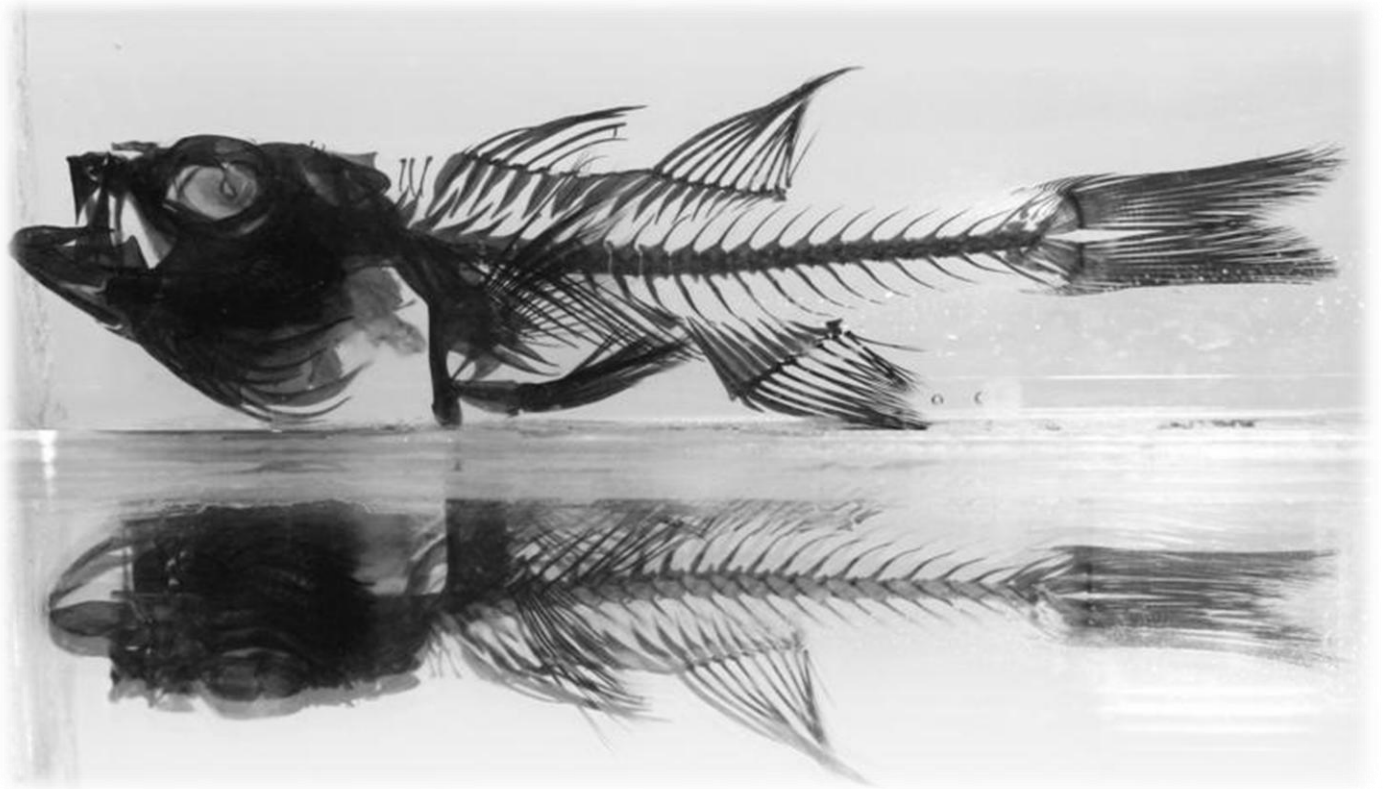
◀ 2010 ▶
 ◀ 06 ▶

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

驚きと感動をつたえる

理科大好き先生

小学校の先生を応援します



透明骨格標本

小型動物の骨格は、主に硬骨と軟骨からできています。試料をホルマリンで固定した後、硬骨を赤に、軟骨を青に別々の薬品で染色します。その後、筋肉を酵素とアルカリの溶液で透明化すると、骨格が透けて見える透明骨格標本が完成します。この標本は、動物の生時の骨格配置が、立体的に観察できるという利点があります。写真は、ネンブツダイ (*Apogon semilineatus*) の透明骨格標本です。ネンブツダイは、中部日本の太平洋沿岸の岩礁帯で普通にみられる種です。大きな口が特徴で、繁殖期にはこの口が仔魚を守る「保育器」の代わりになります。[日比野 拓]